



2021年12月

2022年3月期第2四半期 会社説明資料

東証第二部:9059
カンダホールディングス株式会社



-
- 一、私達は、お客様に満足されるサービスを提供し、
お客様と共に繁栄します。
 - 一、私達は、和の精神を大切にし、社員の生活向上を目指します。
 - 一、私達は、研究と創造に努め、自己改革に挑戦します。
 - 一、私達は、物流を通じて社会の発展に貢献します。



Ⅰ カンダグループの概要

会社概要	5
会社沿革	6
グループ構成	7
拠点ネットワーク	8

Ⅱ 事業の概要

事業の特徴	10
物流サービスメニュー	11
取扱品目別 営業収益構成比率	12

Ⅲ 2022年3月期 中間決算概要 / 通期業績予想

連結決算推移(営業収益・営業利益)	14
(経常利益・当期純利益)	15
2022年3月期 中間決算概要	16
2022年3月期 通期業績予想	17

Ⅳ 株価と配当推移

株価・配当推移	19
株価指標推移	20
優待制度と配当利回り	21

Ⅴ 2022年3月期 今期の取組み

経営方針	23
市場区分の選択	24
【上期トピックス】	
グループ会社合併	25
ソフトウェア開発会社をグループ化	26
四日市市にて物流センター業務開始	27
【下期取組み】	
家電量販店様の物流センター業務開始	28
新座市にて物流センター業務開始	29
海老名市にて物流センター業務開始予定	30

Ⅵ ESGとBCP

ESG	32
CSRレポート2021	33
「ホワイト物流」推進運動	34
「働きやすい職場認証制度」	35
健康企業宣言	36
「日販よい本いっぱい文庫」	37
海外子女教育振興財団	38
BCP	39
新型コロナウイルスへの対策	40
安全対策	41

カンダグループの概要

事業の概要

2022年3月期 中間決算概要/通期業績予想

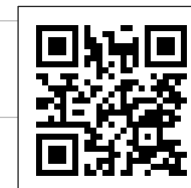
株価と配当推移

2022年3月期 今期の取組み

ESGとBCP



商号	カンダホールディングス株式会社
本社所在地	〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町三丁目2番4号
創業	1943年11月
代表者	代表取締役社長 原島 藤壽
資本金	17億7,278万4千円
事業内容	グループ全体の事業活動を統括・管理する
従業員数	連結:2,463名 (2021年9月末日現在)
グループ会社	27社 (2021年9月末日現在)
上場区分	東京証券取引所市場第二部
証券コード	9059





創業期

運送業から物流業へ

総合物流企業目指して

1943年

東京都神田区内の運送会社16社の統合により発足



1945年

定期路線便の構築



1963年

出版共同配送開始



1991年

カンダコーポレーション(株)へ社名変更



1994年

日本証券業協会に株式を店頭登録



2004年

東京証券取引所市場第二部へ上場

2006年

流通加工事業者(株)モリコーをグループ化



2009年

持株会社制へ移行
カンダホールディングス(株)へ社名変更

2011年

(株)ペガサスパーセルサービスより国際宅配事業部門を譲り受け(現 (株)ペガサスグローバルエクスプレス)、国際物流事業本格的に進出



2012年

(株)ハーバーマネジメントをグループ化(現 (株)ペガサスグローバルエクスプレス)
タイ バンコクに現地法人を設立
流通加工事業者(株)ジェイピーエルをグループ化



2014年

国際海上貨物混載事業者
ニュースターライン(株)とベルトランス(株)をグループ化



2015年

日本物流ネットワーク協会の(JLNA)発足



2017年

低温輸送事業者(株)中村エンタープライズをグループ化



2020年

カンダリテールサポート(株)とカンダビズパートナー(株)が事業開始



2021年

システム開発会社(株)ソフトエイジをグループ化





グループ構成

持株会社



事業会社：国内物流

カンダコーポレーション

埼玉配送

神協運輸

ワカバ運輸

ヤマナシ流通

名岐物流サービス

アサクラ

関西配送

カンダ物流

ロジメディカル

ロジメック

カンダコアテクノ

ジェイピーエル

※2021年8月 グループ化

カンダリテールサポート

モリコー

中村エンタープライズ

ソフトエイジ



事業会社：国際物流

ペガサスグローバルエクスプレス

PGEタイ

ニュースターライン

ベルトランス



機能分担会社

カンダビズパートナー

ケイ・コム

神田ファイナンス

神田エンタープライズ

カンダハーティサービス



※ PGEインドネシアにつきましては、2021年4月より会社清算に向けた手続きを開始しており、2022年6月に清算が終了する予定です。

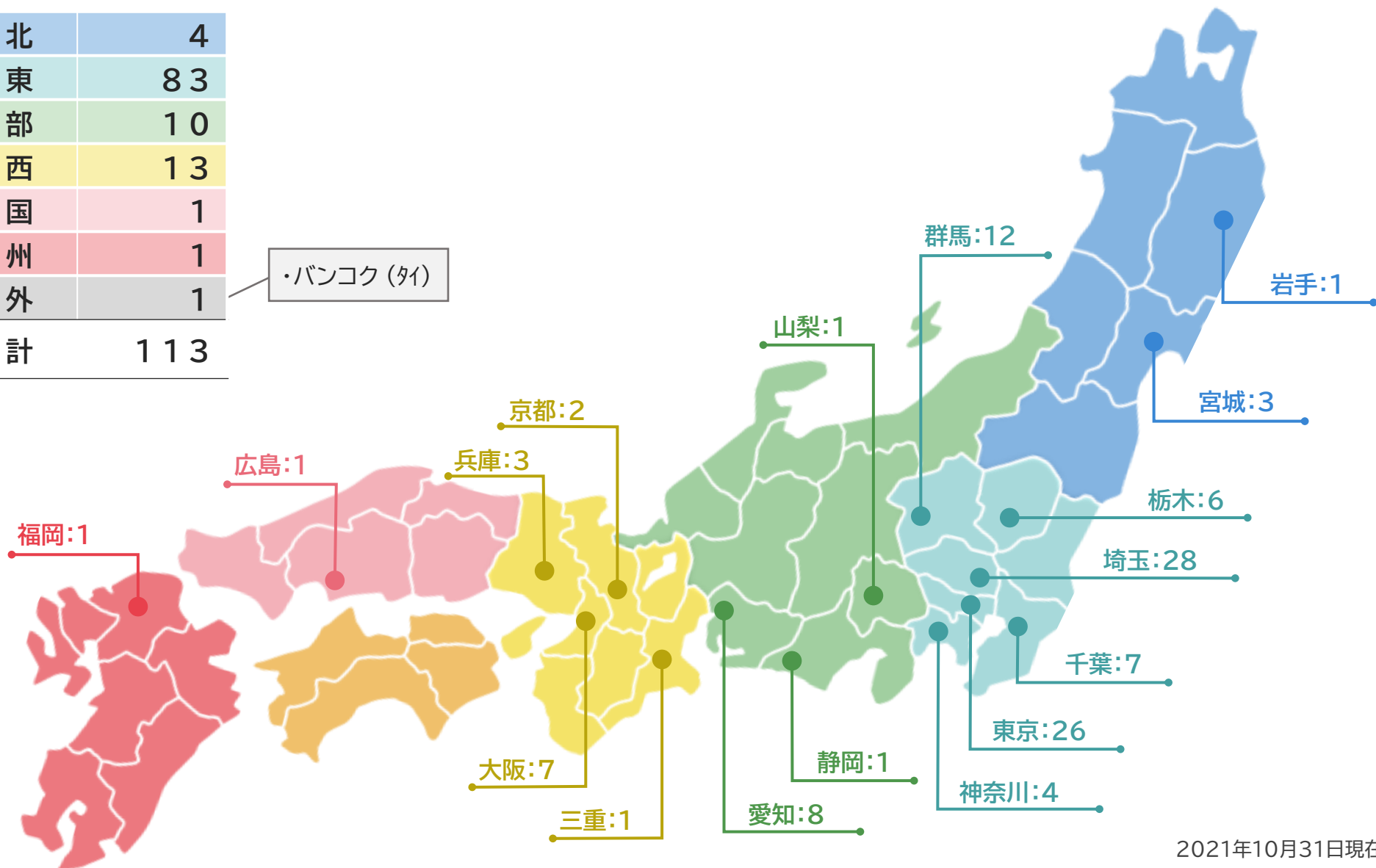
2021年10月31日現在



エリア別 事業拠点数

東北	4
関東	83
中部	10
関西	13
中国	1
九州	1
海外	1
合計	113

・バンコク(タイ)



2021年10月31日現在

カンダグループの概要

事業の概要

2022年3月期 中間決算概要/通期業績予想

株価と配当推移

2022年3月期 今期の取組み

ESGとBCP



事業の特徴

■ カンダグループの4つの強み



多種多様な物流サービスを
提供できる国内外グループ体制



3,500社に及ぶお客様との
取引に支えられた裾野の広さ



1つの業種・業態、企業に
偏らない幅広い営業基盤



国内外を一気通貫で結ぶ
物流ネットワーク





物流サービスメニュー

国内物流 (庫内)



物流センター
(在庫型)



物流センター
(通過型)



流通加工



機密文書
保管



社内メール
サービス

国内物流 (輸配送)



共同配送



ルート配送



宅配



冷凍冷蔵
輸送



化学薬品
輸送



警備輸送
(集配金)



建築資材
運搬



廃棄物
収集運搬



介護・介助
輸送



事務所移転

国際物流



国際宅配



航空輸送



海上輸送



越境EC



現地法人

情報システム



WMS
/TMS



WEB受発注
システム



データセンター



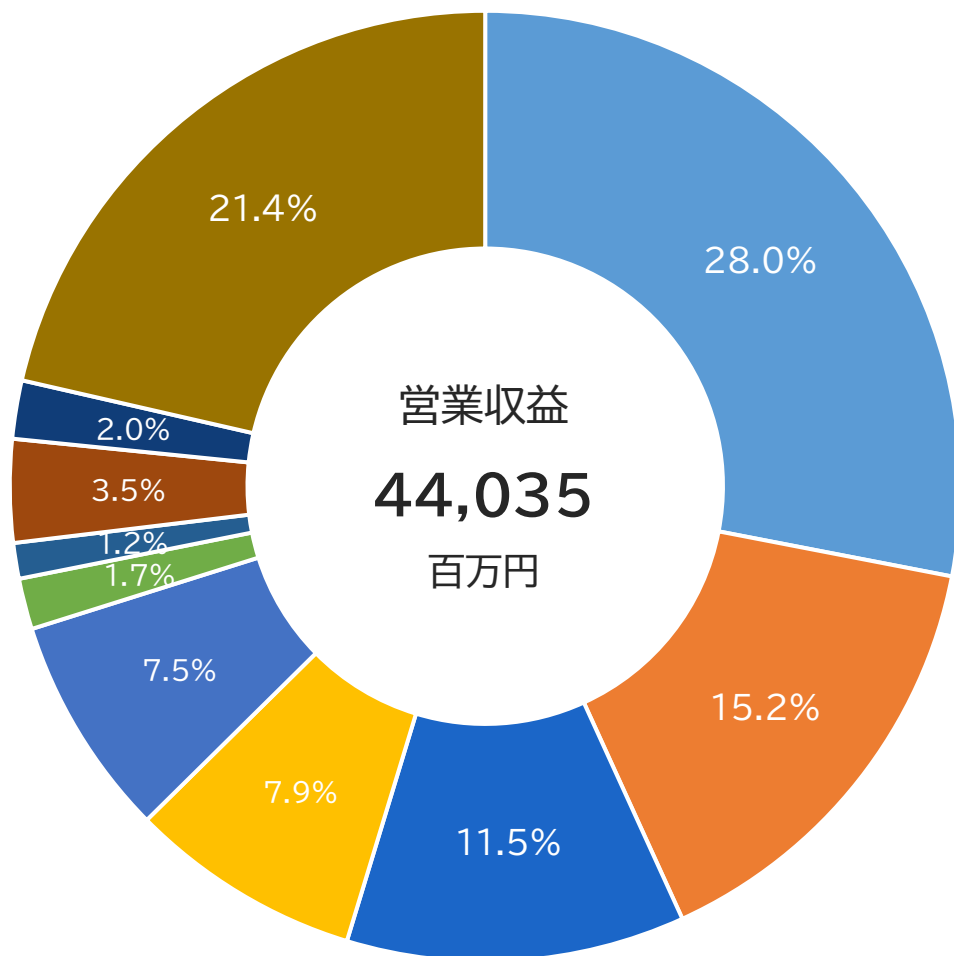
ソフトウェア開発



システム
ソリューション



2021年3月期 構成比率



医療・薬品・HBC*	28.0%
食品	15.2%
出版・印刷物	11.5%
現金証券	7.9%
生活雑貨	7.5%
環境・福祉	1.7%
繊維衣料	1.2%
その他	3.5%
不動産	2.0%
国際	21.4%

*HBC … Health & Beauty Care の略称で健康食品や美容品などが含まれます。

カンダグループの概要

事業の概要

2022年3月期 中間決算概要/通期業績予想

株価と配当推移

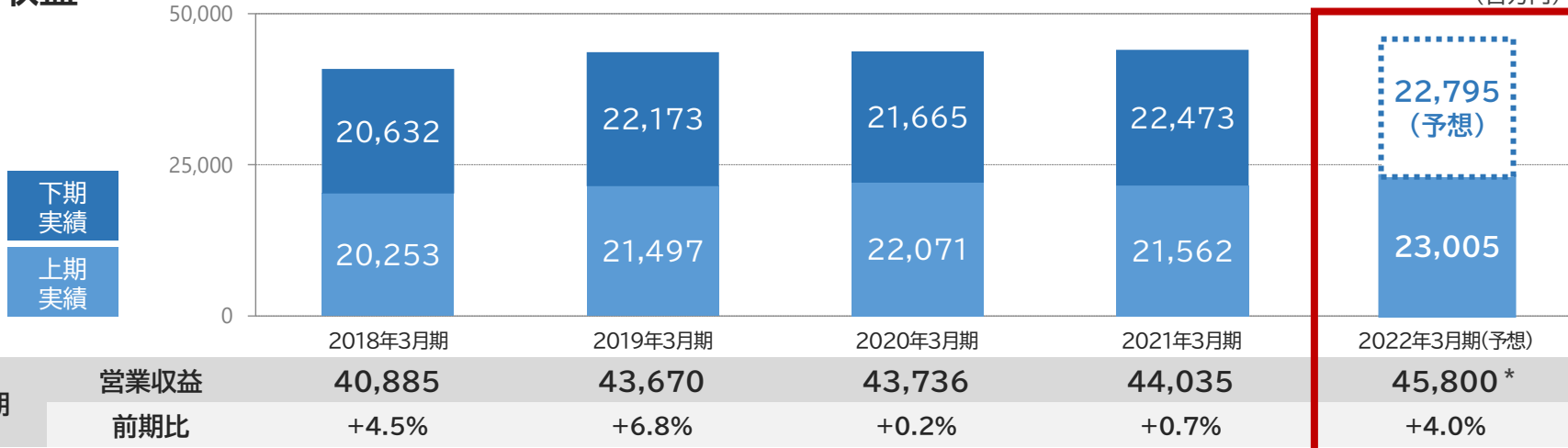
2022年3月期 今期の取組み

ESGとBCP



営業収益

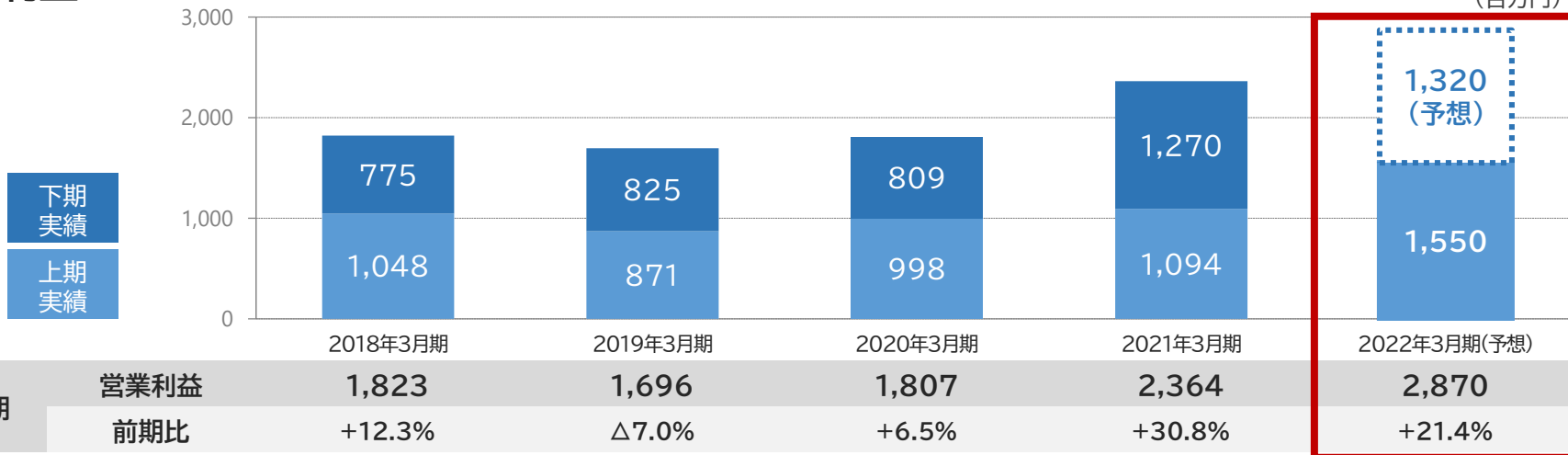
*2022年3月期の通期予想につきましては、新収益認識基準の影響額として約1,200百万円の減収を織り込んだ数値となっております。(百万円)



■ 2022年3月期第2四半期累計結果及び直近の業績動向を踏まえ、通期連結業績予想を2021年11月1日に上方修正しております。(前回発表予想より+2,200百万円)

営業利益

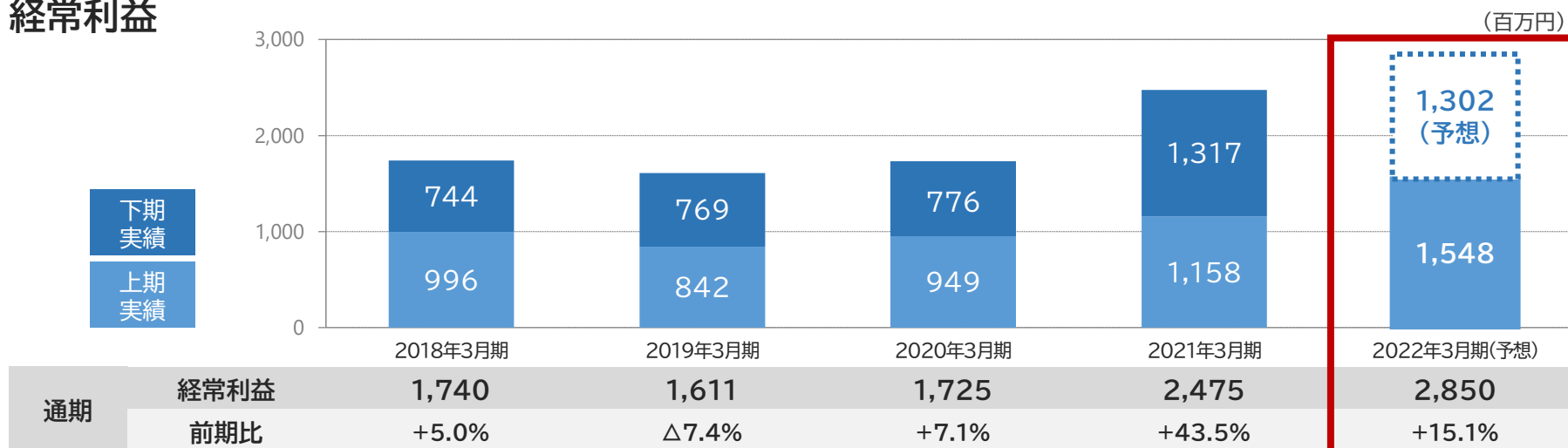
(百万円)



■ 2022年3月期第2四半期累計結果及び直近の業績動向を踏まえ、通期連結業績予想を2021年11月1日に上方修正しております。(前回発表予想より+350百万円)

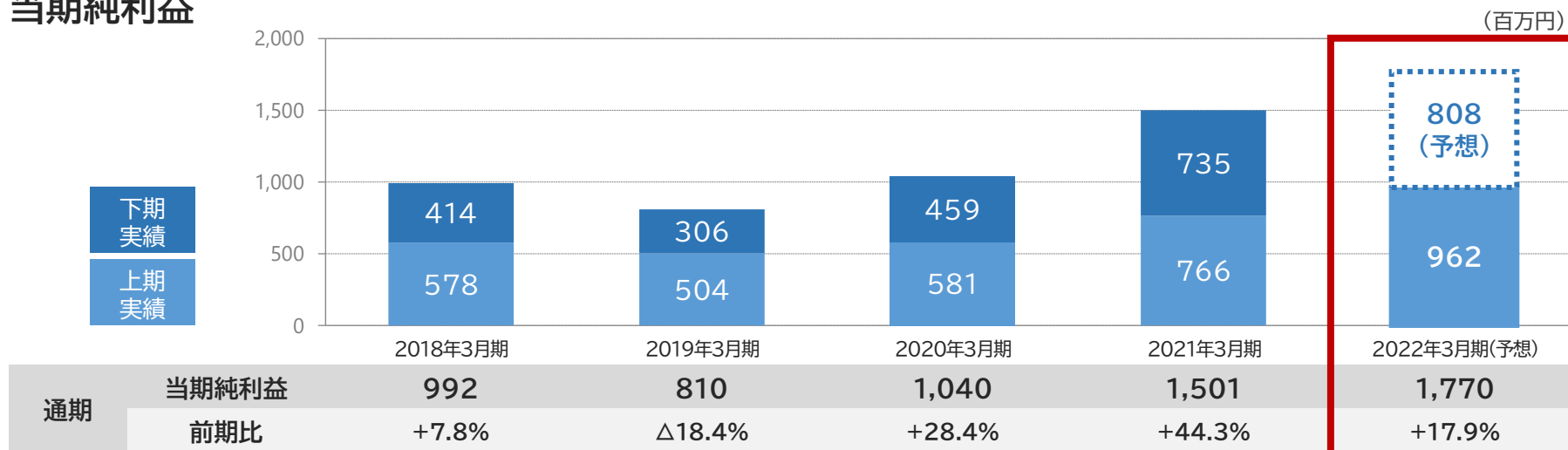


経常利益



■ 2022年3月期第2四半期累計結果及び直近の業績動向を踏まえ、通期連結業績予想を2021年11月1日に上方修正しております。(前回発表予想より+350百万円)

当期純利益

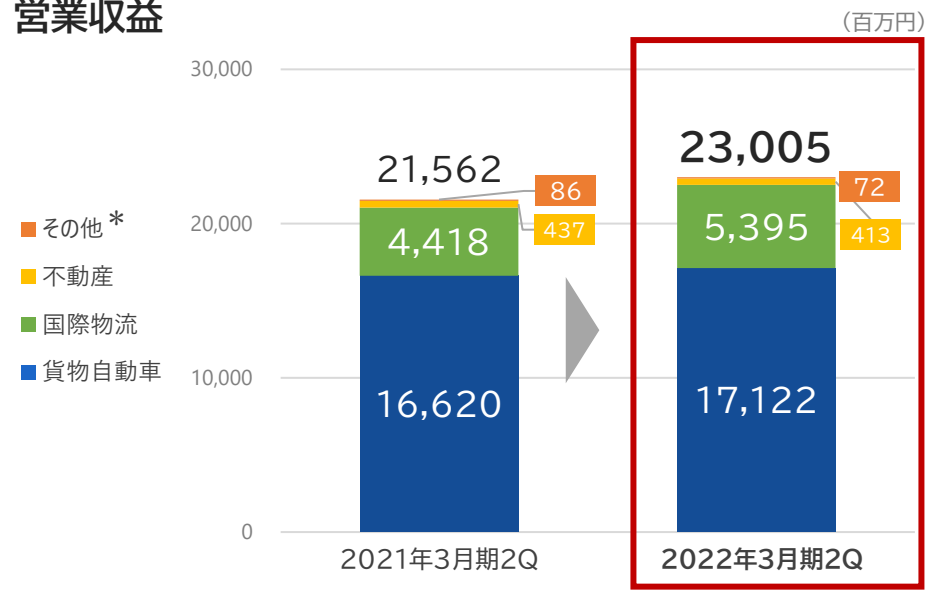


■ 2022年3月期第2四半期累計結果及び直近の業績動向を踏まえ、通期連結業績予想を2021年11月1日に上方修正しております。(前回発表予想より+220百万円)

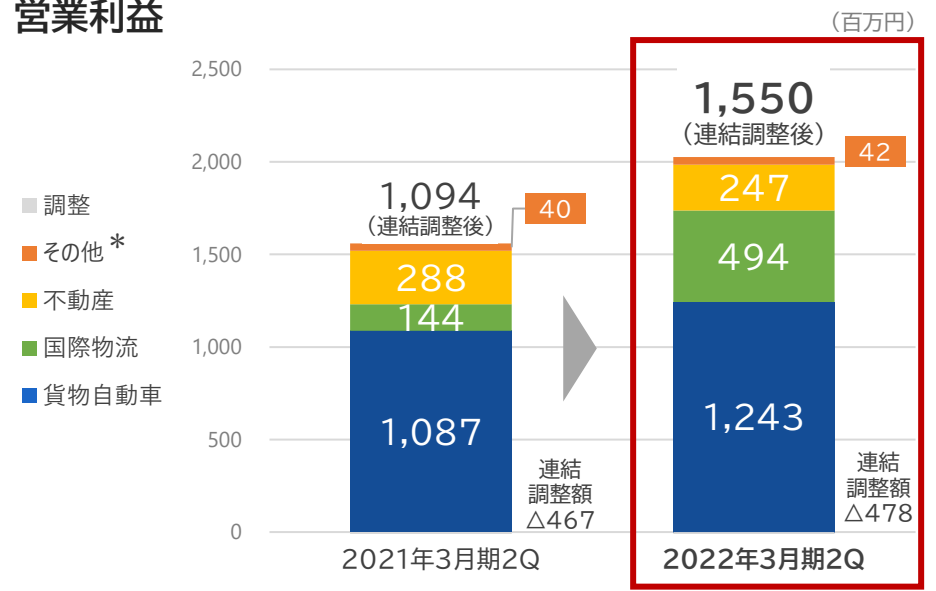


■ セグメント別業績(第2四半期累計実績)

営業収益



営業利益



*「その他」セグメント:太陽光発電業、コンピューターソフト開発業、保険代理店業、リース業、部品販売業、清掃業の総額です。

国内

- ・食品・衛生用品・日用雑貨等の貨物量が引き続き堅調に推移
- ・引き続き適正運賃の確保に向けた取組みを実施



増収増益

国際

- ・自動車・電子機器及び半導体関連の荷動きが好調
- ・EC市場の拡大により貨物量拡大



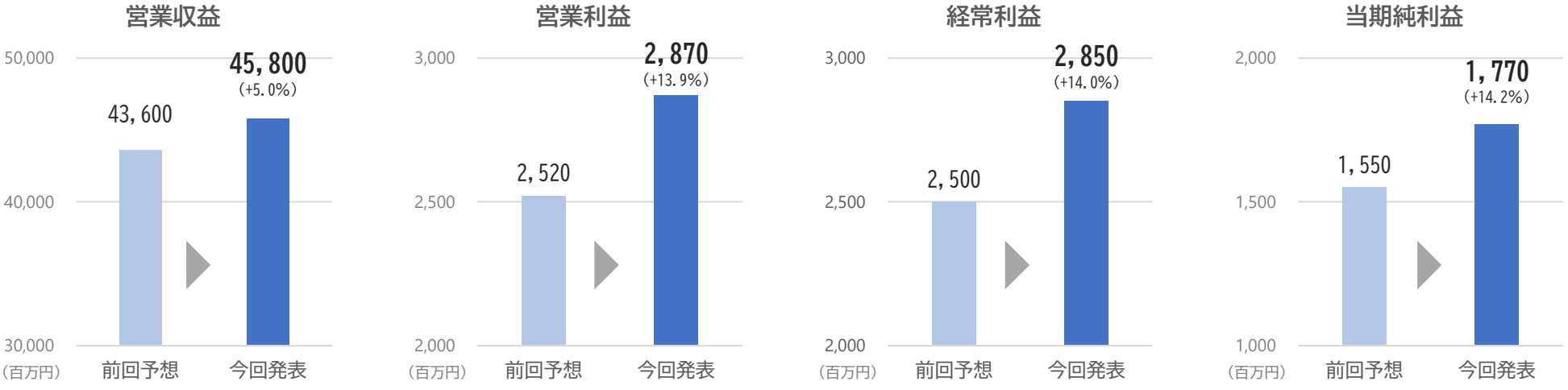
増収増益



■ 通期業績予想の修正 2021年11月1日付開示

・通期の連結業績につきましては、コロナウイルス感染再拡大の可能性や原材料価格、原油価格等の高止まりによる経済への影響等が見通しにくい状況ではありますが、第2四半期連結業績が当初予想を上回ったことを主要因として修正いたしました。

※「第2四半期連結業績予想と実績との差異、通期連結業績予想の修正」より



カンダグループの概要

事業の概要

2022年3月期 中間決算概要/通期業績予想

株価と配当推移

2022年3月期 今期の取組み

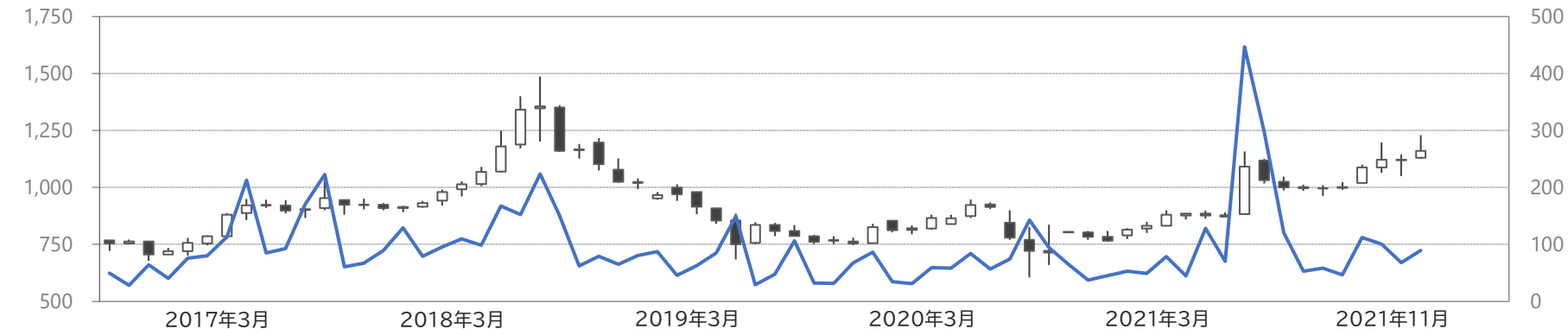
ESGとBCP



■ 株価・出来高

左軸：株価チャート(円)

右軸：— 出来高(千株)



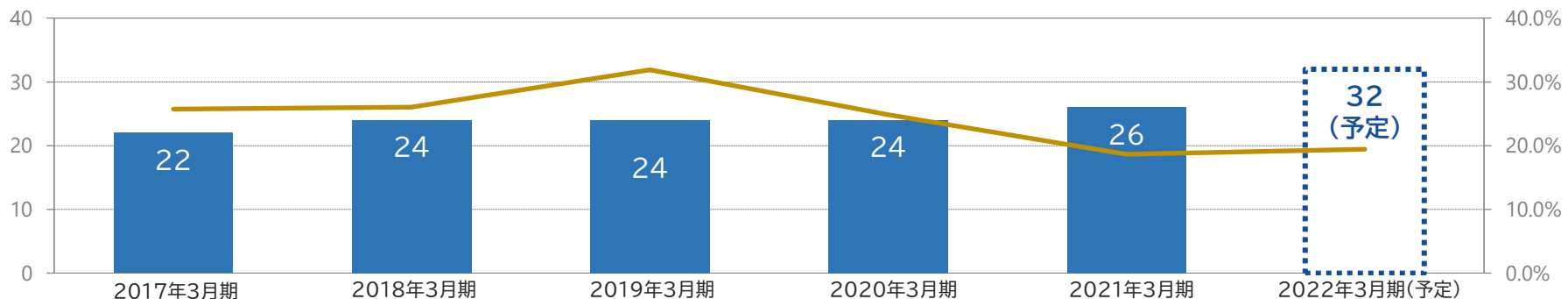
株価(終値)	953円	1,160円	787円	721円	1,032円	1,160円
--------	------	--------	------	------	--------	--------

■ 配当・配当性向

*1株当たりの年間配当につきまして、直近の業績を鑑みまして通期で32円(前期より6円増配)を予定しております。

左軸：■ 1株あたり年間配当(円)

右軸：— 配当性向(%)



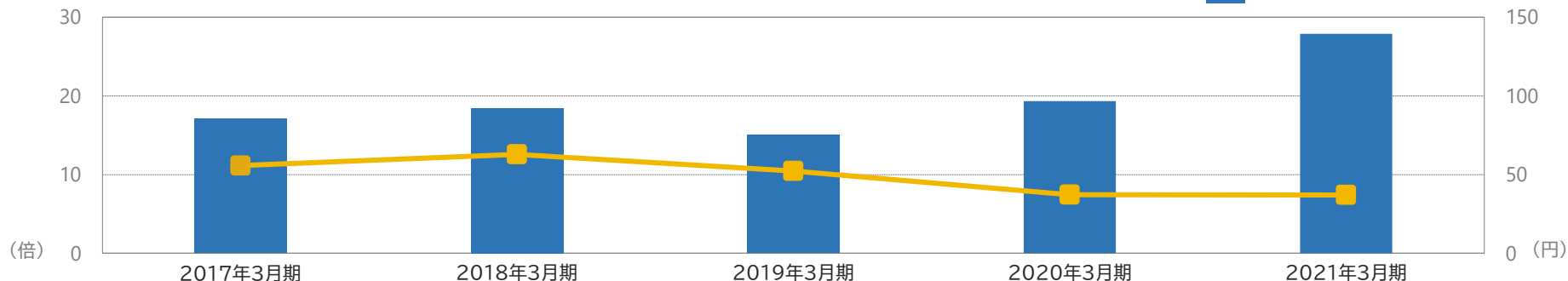
年間配当/株	22円	24円	24円	24円	26円	32円
配当性向	25.7%	26.0%	31.9%	24.8%	18.6%	19.5%



PER・EPS

左軸: PER(株価収益率)

右軸: EPS(1株あたり純利益)

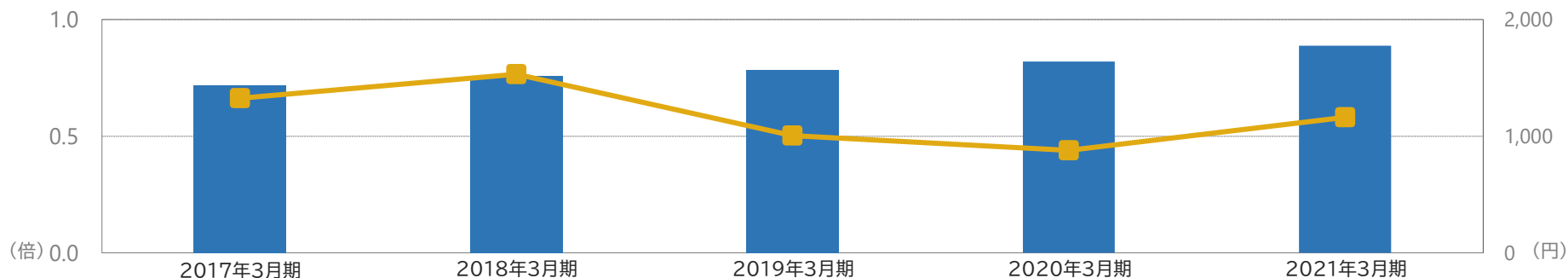


PER	11.1倍	12.6倍	10.5倍	7.5倍	7.4倍
EPS	85.53円	92.21円	75.27円	96.65円	139.48円

PBR・BPS

左軸: PBR(株価純資産倍率)

右軸: BPS(1株あたり純資産)



PBR	0.66倍	0.77倍	0.50倍	0.44倍	0.58倍
BPS	1436.55円	1515.78円	1566.44円	1639.26円	1776.82円

株主優待制度

保有株式数	株主優待
100株以上	図書カード 1,000円分
500株以上	図書カード 2,000円分
1,000株以上	図書カード 3,000円分
2,000株以上	図書カード 4,000円分
3,000株以上	図書カード 5,000円分

対象: 毎年3月31日現在の株主名簿に記載された100株以上保有の株主様



配当利回り

【利回り計算】

単元株100株を、株価1,160円[※]で購入頂くと… ※ 2021年11月30日終値

配当3,200円 + 株主優待1,000円 ▶ 実質配当金額4,200円 **配当利回り 3.62%**

カンダグループの概要

事業の概要

2022年3月期 中間決算概要/通期業績予想

株価と配当推移

2022年3月期 今期の取組み

ESGとBCP



変化の年を『シンカ』の年にしよう

状況の変化を前向きに捉え、『進化』『深化』『真価』する年へ

1. 既存顧客&協力会社との取引の『深化』

▶ 既存顧客の業容拡大 ▶ 利益確保の追求 ▶ アライアンスの強化

2. コンプライアンス遵守に向けた透明性のある業務への『進化』

▶ 属人化した業務体制からの脱却 ▶ 働き方改革への対応

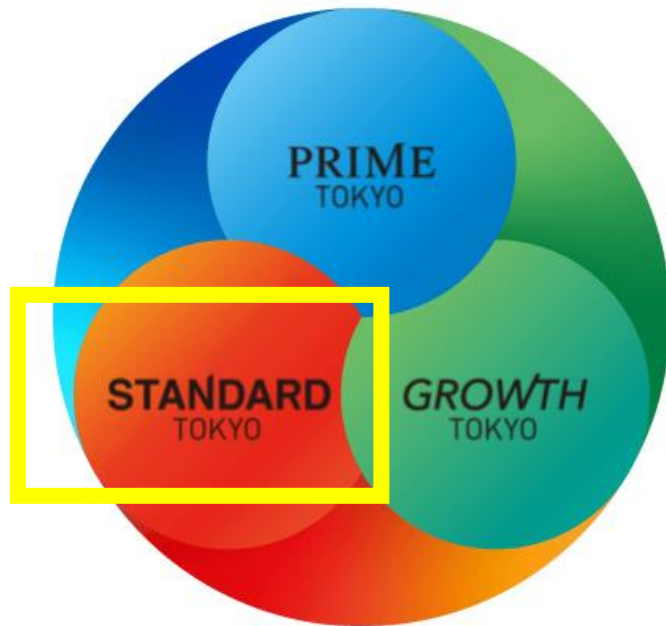
3. 将来を見据えた『真価』の創造

▶ 新規業務の獲得 ▶ 先端技術の活用 ▶ 組織体制の変更

4. 交通事故、労災事故の防止

▶ 安全対策機器(IT点呼カメラ、ドラレコ、デジタコ等)の有効活用

- 2021年8月27日の取締役会において、2022年4月に東京証券取引所が移行を予定している新市場区分について、「スタンダード市場」を選択する決議をいたしました。



スタンダード市場

公開された市場における投資対象として一定の時価総額（流動性）を持ち、上場企業として基本的なガバナンス水準を備えつつ、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上にコミットする企業

- ▶ 決議は、東京証券取引所による新市場区分における上場維持基準に関する一次判定結果に基づいております。
- ▶ 今後は定められたスケジュールに従い、新市場区分の選択申請に係る所定の手続きを進めてまいります。



【上期ピックアップ】 グループ会社合併

■ 2021年7月1日 (株)カンダコアテクノと(株)レキストは、経営の効率化を図るため合併をいたしました。

【存続会社】

商号	株式会社カンダコアテクノ
所在地	東京都千代田区神田三崎町三丁目2番4号
設立	2008年5月
代表者	代表取締役社長 山崎 唯
資本金	8,000万円
営業所	<p>東京</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本社・営業本部・品質保証部・ロジテクノ営業所 ・浮間文書保管倉庫・浮間営業所・江東営業所 <p>埼玉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三郷営業所・加須営業所・久喜営業所 ・HL三郷営業所・HL所沢営業所 <p>神奈川</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座間営業所 <p>岩手</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花巻営業所



医薬品・医療機器物流



機密文書保管



3温度帯物流



物流センター運営

- ▶ ^{*}GDPに準拠した医薬・医療機器物流に強みを持つ両社を合併し、経営の効率化と業務遂行能力の強化を図りました。
- ▶ 今後も医療関係者をはじめとする様々なお取引先様を物流面からサポートしてまいります。

*GDP … Good Distribution Practice の略で、医薬品における輸送・保管中の品質管理に重点をおいた国際的な適正流通ガイドラインです。



【上期ピックアップ】ソフトウェア開発会社をグループ化

■ 2021年8月2日 ソフトウェア開発を主業務とする(株)ソフトエイジをグループ化しました。

【会社概要】

商号	株式会社ソフトエイジ	
設立	1997年8月	
代表者	代表取締役社長 薄井 敏実	
資本金	3,000万円	
所在地	本社	宮城県仙台市青葉区本町2丁目6-23 ビブスタオフィスビル 4F
	柏営業所	千葉県柏市旭町1-1-7 第5彰栄ビル 4F
	東京事務所	東京都千代田区神田和泉町1-1-14 パシフィックビル5F



【事業概要】 ITシステムの請負開発・情報処理全般に関する受託業務

リテールソリューション

- ・ハンディターミナル
- ・POSアプリ
- ・在庫管理システム 等の開発



ERPソリューション

- ・ERPシステム開発
- ・導入支援、保守サービス
- ・ソフトウェア、機器販売

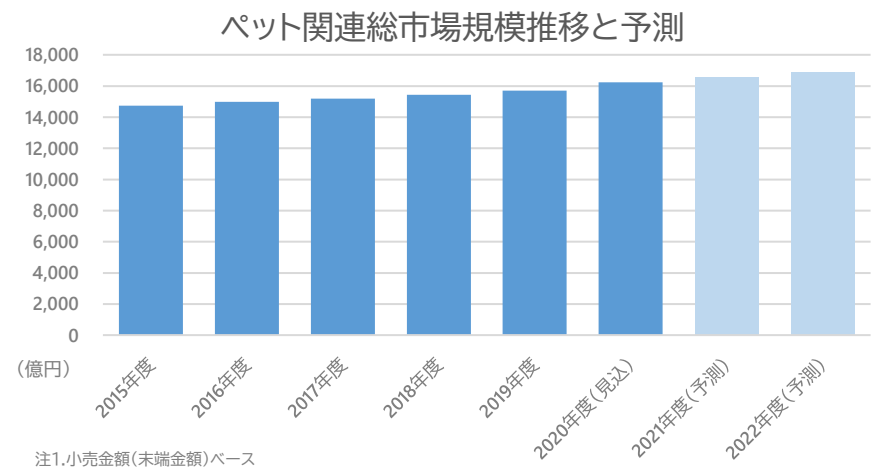


- ▶ 同社はソフトウェア、情報処理システム、ネットワークシステムの設計開発により成長を続けてまいりました。
- ▶ グループ化により、物流事業者として必要な情報システム部門の維持・発展につながるものと期待しております。

■ 2021年5月 三重県四日市市にてペット用品卸様の物流センター業務が開始いたしました。



名称	ロジメディカル 四日市営業所
所在地	三重県四日市市
お客様	ペット用品卸様
業務範囲	ペット用品のDC業務及び量販店向け配送



注1.小売金額(末端金額)ベース
 注2.2020年度見込値、2021年度以降予測値
 出所: 株式会社経済研究所「ペットビジネスに関する調査(2021年)」2021年2月8日発表



- ▶ 「ペット関連総市場規模推移と予測」が示す通り、今後の業務拡大に期待をしております。
- ▶ 家族の一員であるペットに「健康」と、ペットを愛する皆さまに「安心」を届けるべく、徹底した品質管理と配送の最適化を実現いたします。

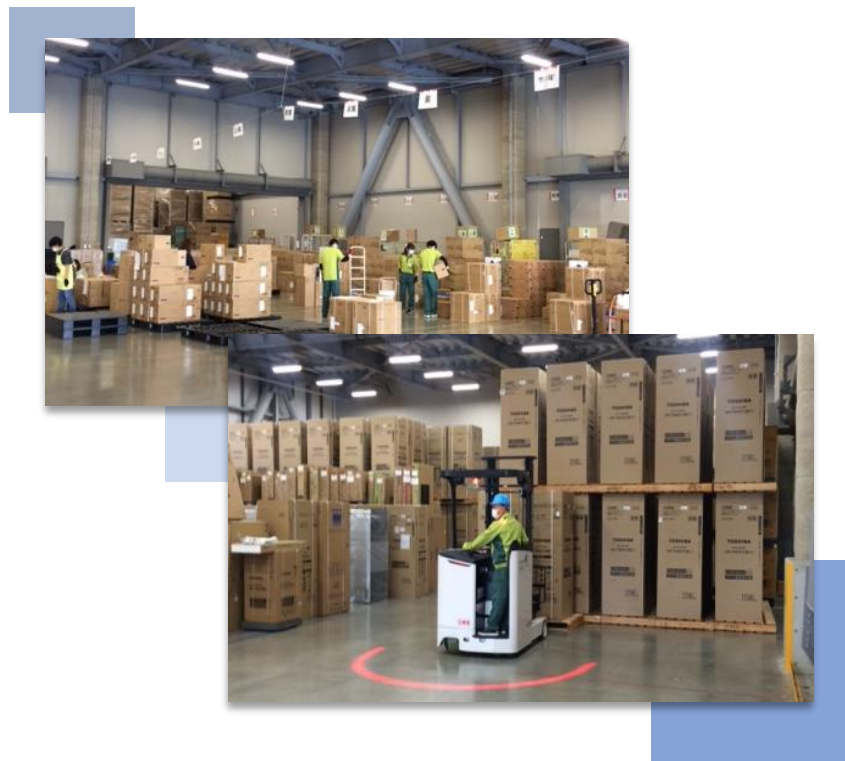


【下期の取組み】 家電量販店様の物流センター業務開始

■ 2021年10月 新たに家電量販店様の物流センター業務が開始いたしました。



名称	カンダコーポレーション 吉見センター
所在地	埼玉県比企郡吉見町
お客様	埼玉県を中心とした家電量販店チェーン様
業務範囲	家電の入出荷仕分け作業及び店舗向け配送



- ▶ 今まで積み重ねてきた実績をお客様から評価して頂き、「最適な物流構築に貢献できるパートナー」として認められたことにより受託したものです。
- ▶ お客様では、次年度以降も更なる物流集約を計画されており、最適な物流サービスを提供できるよう提案してまいります。

【下期の取組み】 新座市にて物流センター業務開始

■ 2021年11月 埼玉県新座市にて医薬品卸様の物流センター業務が開始いたしました。



名称	ロジメディカル さいたま第二営業所
所在地	埼玉県新座市
お客様	一般医薬品、健康食品、化粧品等の卸様
業務範囲	医薬品のDC業務及び小売店向け配送



- ▶ 本業務の荷主である医薬品卸様の物流センターは、関東、中部、関西にて多数受託しており、更なる業務の拡大につなげてまいります。
- ▶ 本センターでは100名を超える物流スタッフが活躍しております。



【下期の取組み】 海老名市にて物流センター業務開始予定

- 2022年2月 神奈川県海老名市に営業所を開設し物流センター業務を開始する予定です。



名称	ロジメディカル 海老名営業所(仮)
所在地	神奈川県海老名市
アクセス	圏央道海老名ICより約3km
延床面積	約3,800坪

- ▶ 本物流センターでは医薬品卸様のDC業務(庫内・配送)を行うべく準備を進めております。
- ▶ 本業務を皮切りに神奈川エリアでの業務拡大についても積極的に取組んでまいります。

カンダグループの概要

事業の概要

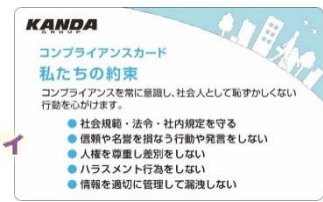
2022年3月期 中間決算概要/通期業績予想

株価と配当推移

2022年3月期 今期の取り組み

ESGとBCP

■ 物流事業を通じて社会の課題解決へ向けた活動を推進してまいります。



環境【Environment】

- ・ 低燃費車への代替及びEV車試験導入
- ・ 物流施設の屋根を利用した太陽光発電
- ・ 低炭素型本社ビルの竣工
- ・ グリーンエコプロジェクトへの参画

社会【Social】

- ・ 特例子会社による障がい者雇用促進
- ・ 地域貢献活動の推進
- ・ 女性管理職の登用拡大
- ・ 事業所内保育施設の開園(2ヶ所)

企業統治【Governance】

- ・ 内部統制(会社法、J-SOX等)強化
- ・ コーポレートガバナンス・ガイドラインの策定
- ・ 監査項目の刷新
- ・ ISO27001の認証取得



■ 当社のCSR活動をESGの観点からまとめた「CSRLレポート2021」を発行いたしました。



- ▶ 本レポートは以後毎年8月を目途に発行し、当社ホームページ上にて開示してまいります。
- ▶ これからも「物流を通じて社会の発展に貢献します」の理念のもと、積極的なCSR活動に取り組んでまいります。



■ 国が推進する「ホワイト物流」推進運動に賛同し自主行動宣言を提出いたしました。

「ホワイト物流」推進運動とは・・・

国土交通省、経済産業省、農林水産省が推進する、物流業界において深刻化が続くドライバー不足に対応し、生産性の向上や物流の効率化に取り組むことで、よりホワイトな労働環境の実現を目指す運動です。

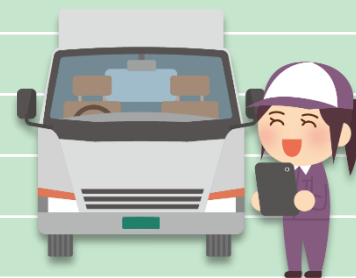
「ホワイト物流」推進運動ポータルサイト <https://white-logistics-movement.jp/>



荷主企業・物流事業者・配送協力会社が相互協力して物流の効率化に取り組めます。

【自主行動宣言】

1. 物流の改善提案と協力
2. 荷主側の施設面の改善
3. 高速道路の利用
4. 運賃と料金の別建て契約
5. 荷役作業時の安全対策
6. 異常気象時等における運行の中止・中断等



※宣言提出会社
カンダコーポレーション(株) / (株)カンダコアテクノ / カンダリテールサポート(株)

- ▶ 物流業界が抱える労働力不足の課題解決となるよう、宣言に則した企業活動に取り組んでまいります。
- ▶ 輸配送の効率化によるCO2排出量の削減や、BCPの観点からも本取組みに賛同しております。



「働きやすい職場認証制度」

■ 国が推進する「働きやすい職場認証制度」においてグループの16営業所が一つ星を取得いたしました。

「働きやすい職場認証制度」とは・・・

自動車運送事業におけるドライバー不足の解消に向けて国土交通省、厚生労働省が推進する取組みで、トラック運転手の労働条件・労働環境を認定団体が公正に評価し、優良な職場環境の運送事業所として認証を受けることができる制度です。

※今後「一つ星」「二つ星」「三つ星」の3段階認証が予定されており、現時点では試行実施期間として「一つ星」のみ取得が可能です。

【一つ星認証の審査要件】

認証項目	判定内容（一部抜粋）
1. 法律遵守	労働基準法、36協定等の違反有無
2. 労働時間・休日	長時間労働の管理、休日取得への取り組み状況
3. 心身の健康	健康診断の実施、ハラスメント相談窓口の設置状況
4. 安心・安定	定年延長制度の有無、時間外手当の支払い状況
5. 多様な人材の確保・育成	運転免許取得支援制度の有無、女性運転手の働きやすさ



認証取得状況 ※2021年10月末日現在

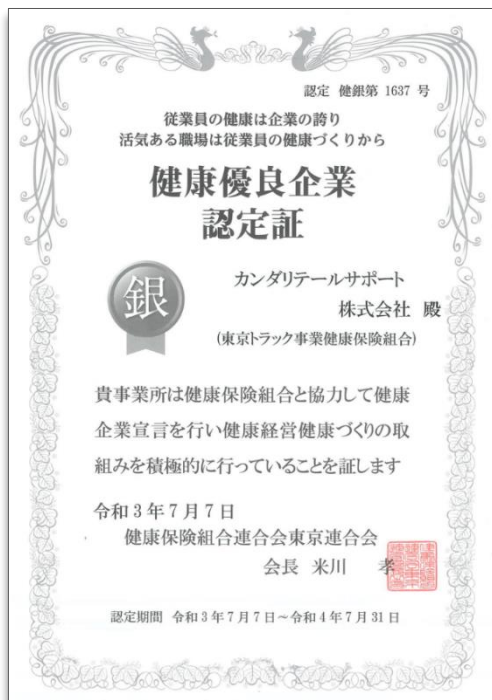
カンダコーポレーション(株) 4営業所、カンダリテールサポート(株) 4営業所、カンダ物流(株) 8営業所

- ▶ この認証を、日頃から取組む「働きやすい職場環境の整備」の指標として、有効に活用してまいります。
- ▶ 今後「二つ星」「三つ星」の認証制度が確定され次第、より良い認証の取得に向け取り組んでまいります。



■ 昨年より取組む「健康企業宣言」活動において「健康優良企業 銀の認定証」を取得いたしました。

【健康企業宣言とは】働く人とその家族の健康を守るため、健康保険組合連合会を通じて企業全体で健康づくりに取組むことを宣言するものです。



【宣言】

1. 健診を100%受診します。
2. 健診結果の活用をします。
3. 健康づくり環境を整えます。
4. 「食」に取り組みます。
5. 「運動」に取り組みます。
6. 「禁煙」に取り組みます。
7. 「心の健康」に取り組みます。

2021年7月カンダリテールサポート(株)にて取得

- ▶ 従業員が健康で安心して働くことができる職場環境を整えることが、企業の成長に繋がるものと考えております。
- ▶ 効率的かつ健康的な企業風土づくりを、従業員一丸となって推進してまいります。



■ 日本出版販売株式会社様の社会貢献活動「日販よい本いっぱい文庫」に協力しております。

「日販よい本いっぱい文庫」とは・・・

1964年より日本出版販売株式会社様と日本児童図書出版協会様が主催している社会貢献活動で、毎年、出版社から寄贈された児童書を、厚生労働省の後援を得て、全国の児童養護施設・母子生活支援施設・障がい児支援施設・小児医療施設・おもちゃ図書館等にクリスマス時期にお届けをする活動です。



引き取り



方面別仕分け



お届け



2020年度
弊社お届け先件数

北海道	12箇所
栃木県	13箇所
群馬県	6箇所
埼玉県	10箇所
山梨県	2箇所
大阪府	6箇所
沖縄県	10箇所
計	59箇所

- ▶ 日本出版販売様の活動主旨に賛同し、毎年、引き取りからお届けまでを無償で協力させて頂いております。
- ▶ 社会貢献活動の一つとして、今後も本活動に協力してまいります。

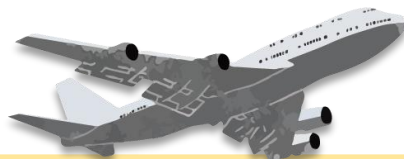
■ 公益財団法人 海外子女教育振興財団(JOES)の活動を支援しております。


【 国内 】

公益財団法人
海外子女教育振興財団



名称	公益財団法人 海外子女教育振興財団
設立	1971年1月
目的	海外子女及び帰国子女の教育の振興を図るため、必要な教育・研修、支援、助言・情報提供・調査等に関する事業を行い、海外勤務生活の安定に寄与し、もってわが国の海外における発展と国際交流の推進に資すること。
関係行政	内閣府 / 外務省・文部科学省



 教科書等の海外発送業務を受託



(株)ペガサスグローバルエクスプレスでは、JOESの海外子女への教育振興活動に賛同し、「維持会員」として活動を支援するとともに、現地の日本人学校に向けた、教科書・教材・備品等の海外発送作業についてもサポートをさせて頂いております。

【 海外 】

世界中の日本人学校等

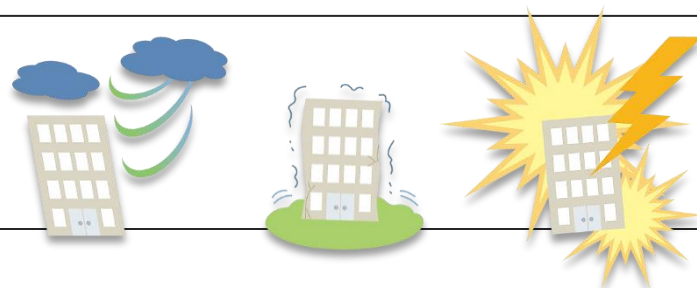


- ▶ グループが持つ国際物流機能をJOESが推進する教育振興活動にご利用頂いております。
- ▶ 今後も海外子女の教育振興、国際交流の一助となるべく、財団への支援を継続してまいります。

災害への備え

【基本方針】

- ・ 従業員とその家族の安全・安心を最優先に活動します。
- ・ 施設、設備についての予防措置及び支援物資の確保を行います。
- ・ 事業存続及び早期復旧を目指した体制を確立します。
- ・ 地域社会の一員として貢献します。
- ・ 従業員の定期的な教育訓練と計画の定期的な見直しを行います。

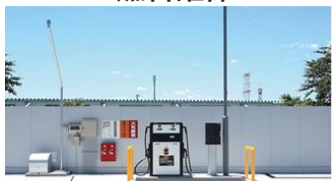


食料・飲料水の備蓄



災害対策本部となる本社事務所では本社従業員数の5日分にあたる食料・飲料水を備蓄しております。

燃料確保



インタンクに燃料を備蓄している他、提携企業と燃料の優先供給に関する協定を締結しております。

データバックアップ



情報資産を守るため、データのバックアップセンターを関東地区に設置しております。

緊急時連絡体制



電話回線が不通になる事態に備え、全国13の営業所に衛星携帯電話を設置しております。

非常用自家発電設備



停電等のリスクを鑑みて一部の物流施設では非常用自家発電設備を設置しております。

高耐震施設



災害対策本部となる本社ビル及び自社物流施設では、建築基準法の規定を上回る耐震性能で建築しております。

▶ 予想される重大な災害等(自然災害・感染症等)により甚大な被害が発生した場合においても、物流サービスの継続的な提供により社会貢献を行うことを目的として『BCP基本方針』を定め『事業継続計画』を策定しております。



■ コロナ禍における当社の社会的使命

物流は重要な社会インフラである

物流とは社会経済活動を支える重要なインフラであり、特に医薬品や食料品など生活に欠かせない荷物の取り扱いが多い当社においては、「物流を止めないこと」こそが果たすべき使命であると考えております。

このコロナ禍においても、お客様、従業員、荷物の安全に十分配慮した上で日夜企業活動を継続してまいります。

■ 感染の予防、拡大防止に向けた取り組み



マスクの無償配布



検温システムの設置



テレワーク制度の導入



共有部分の定期除菌



WEB会議システムの活用



飛沫防止パネルの設置



社内通達

■ 安全と生命はすべてに優先する 「交通事故」や「労働災害」の発生防止

■ 2022年3月期スローガン

『安全は自分自身の心掛け！
安心は相手を気遣う思いやり！』

■ 2022年3月期安全対策費用

予算)7,500万円 (2021年3月期実績 7,000万円)

■ 2022年3月期活動予定(一部抜粋)

- ・ Gマーク認証の新規、継続取得
全39事業所中、36事業所で認定 ※2021年3月末日現在
- ・ 社内ライセンス「セーフティアドバイザー」の養成
- ・ 安全講習会の実施
- ・ 初任者向け実車研修(足利教育研修所)
- ・ 新型ドライブレコーダーを活用した安全教育の実施
- ・ クラウド型デジタルタコグラフへの機種変更拡大
- ・ 点呼確認カメラを車両保有全事業所に導入設置
- ・ ドライブシミュレーターを活用した危険運転体験講習実施
- ・ 危険感受性の共有を目的とした動画KYT講習の実施
- ・ アルコール測定連動型免許リーダーを全事業所に導入





本資料は、投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資への勧誘を目的としたものではありません。

記載されている内容は、資料作成時点の当社の判断に基づくものであります。

従いまして、将来の計画数値や施策の実現等について記載された内容を確認したり保証するものではなく、実際の業績は当社を取り巻く様々なリスク及び不確実性により、これら見通しとは異なる結果をもたらすことがあることをご承知おきください。

また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社はこれを保証するものではありません。

 **カンダホールディングス株式会社**

お問合せ先: カンダホールディングス株式会社 総務部株式課

電話: 03-6327-1811(代) FAX: 03-6327-1800

ホームページ: <https://kanda-web.co.jp/>

e-mail: hd-soumu@kanda-web.co.jp